

ヴォイス 言語データ クメール語

上田 広美

アンケートに従って、以下に言語データを示す。発話の状況によってさまざまな表現があり得るが、以下では代表的な表現のみを挙げた。インフォーマントとして、ウンサー・マロム氏にご協力いただいた。以下、本稿の表記は音韻表記で、坂本(1988)¹に従う。

(1a) 《風などで》ドアが開いた。

一般的に、形態的な自他の区別はない²。開く/開けるは同形/baək/である。

tvəə	baək
ドア	開く

(1b) (彼が) ドアを開けた。

kəət	baək	tvəə
彼	開ける	ドア

(1c) 入口のドアが開けられた。

tvəə	cool	trəv	baək
ドア	入る	当たる	開ける

上の例のように、/trəv/<当たる>を動詞に前置させて、受け身文を作ることできるが、この文は、「入り口のドアは、開けなければならない」という義務の意味にもなる。一般に、/trəv/を用いた受け身文は翻訳調であるとされ、下の例のように、不特定の人を表す語/kèe/<彼(女)/彼(女)ら>を用いた能動的表現が好まれる。なお、下の例は、「彼は入口のドアを開けた」「彼はドアを開けて入った」の両方の意味になり得る。

kèe	baək	tvəə	cool
彼	開ける	ドア	入る

「ドアが壊れた/ドアが壊された」の場合には、<壊された>は、不特定の誰かがドアが/khooc/<壊れる>ようにさせた、という使役の表現となる。

¹ 坂本恭章(1988)「クメール語」、『言語学大辞典第1巻世界言語編(上)』1479-1505, 三省堂。

² かつてはある語根から派生語を作る造語法が存在し、使役を表す接辞の場合、語根と派生語の関係が自他の区別と似ているものもあるが、この造語法は既に化石化している。

kèc	tvàə	ʔəoj	tvàə	khooc
彼	作る	与える	ドア	壊れる

(2) 私は（自分の）弟を立たせた。

kɲom	ʔəoj	pʔoon	proh	kɲom	chòc
私	与える	弟妹	男	私	立つ

動詞に/ʔəoj/<与える>を前置させることで使役を表す。被使役者が随意にできる動作ではない場合には/ʔəoj/<与える>の代わりに、例(1)のように/tvəə ʔəoj/<作る+与える>を用いる。

(3) 私は（自分の）弟に歌を歌わせた。

kɲom	ʔəoj	pʔoon	proh	kɲom	criəŋ	cəmriəŋ
私	与える	弟妹	男	私	歌う	歌

(4a) 《遊びたがっている子供に無理やり》母は子供にパンを買いに行かせた。

mdaaj	ʔəoj	koon	kɔət	tàv	təŋ	nòm paŋ
母	与える	子	彼女	行く	買う	パン

強制使役もしくは許可使役であることを特に明示したければ、/ʔəoj/<与える>の前に/bəŋkhom/<強制する>や/ʔaʔnɲəŋaət/<許可する>などの動詞を付加することもできる。

(4b) 《遊びに出たがっているのを見て》母は子供を遊びに行かせた。

mdaaj	ʔəoj	koon	kɔət	tàv	lèŋ	krav
母	与える	子	彼女	行く	遊ぶ	外

(5a) 私は弟に服を着せた。

kɲom	pèək ³	ʔaav	ʔəoj	pʔoon	proh	kɲom
私	着る	服	与える	弟妹	男	私

自分で服を着ることができない小さな子どもや、コートを着せかけるなど、直接手を下して着せかける場合である。

³ /pèək/<着る>から派生した/bəmpèək/<着せる>という語もあるが、勲章や地位を授与する時に限定され、この例では用いられない。

(5b) 私は弟にその服を着させた。

kɲom	ʔaoj	pʔoon	proh	kɲom	pèək	ʔaav	nuh
私	与える	弟妹	男	私	着る	服	それ

自分で着るように言語により命令するなど、間接的な行為の場合の例である。

(6) 私は弟にその本をあげた。

kɲom	ʔaoj	siənpʰə̀v	nuh	tə̀v	pʔoon	proh	kɲom
私	与える	本	それ	行く	弟妹	男	私

やりもらい表現は、受益者の前に授受動詞/ʔaoj/を置く。

(7a) 私は弟に本を読んであげた。

kɲom	ʔaan	siənpʰə̀v	ʔaoj	pʔoon	proh	kɲom
私	読む	本	与える	弟妹	男	私

(7b) 兄は私に本を読んでもくれた。

bə̀ŋ	proh	kɲom	ʔaan	siənpʰə̀v	ʔaoj	kɲom
兄姉	男	私	読む	本	与える	私

(7c) 私は母に髪の毛を切ってもらった。

mdaaj	kat	sək	ʔaoj	kɲom
母	切る	髪	与える	私

(8a) 私は（自分の）体を洗った。

kɲom	doh	kluon
私	洗う	自分

(8b) 私は手を洗った。

kɲom	lèəŋ	daj
私	洗う	手

(8c) 彼は（／その人は）手を洗った。

kə̀ət	lèəŋ	daj
彼	洗う	手

(9) 私は（自分のために）その本を買った。

kɲom	tèn	siəvphəv	səmrap	kluon	kɲom
私	買う	本	ために	自分	私

(10) 彼らは（／その人たちは）（互いに）殴り合っていた。

相互の動作は、動詞の後ろに/knèə/<互いに>を付ける。

puok	kèe	vəaj	knèə
群	彼	殴る	互いに

(11) その人たちは《みな一緒に》町へ出発した。

puok	kèe	nəəm	knèə	tàv	tii kroŋ
群	彼	連れる	互いに	行く	町

(12) その映画は泣ける（その映画を見ると泣いてしまう）。

kon	nuh	kuo	ʔəoj	cəŋ	jòm
映画	それ	適切な	与える	～したい	泣く

(13a) 私は卵を割った。

kɲom	kòh	pòŋ	məən
私	割る	卵	鶏

(13b) 《うっかり落として》私はコップを割った（／割ってしまった）。

kɲom	cruh	kaev	baek
私	落とす	コップ	割れる

(14a) きのう私はコーヒーを飲みすぎて（飲みすぎたので）眠れなかった。

msəlməŋ	kɲom	phək	kaafee	craən	pèek
昨日	私	飲む	コーヒー	たくさん	すぎる

deek	muun	lòk	tèe
寝る	(否定)	眠る	(文末)

/deek/<横になる>という自己の意思でコントロールできる動作は否定せず、その結果である/lòk/<眠る>という、自己の意思でコントロールできない動作のみを否定する。

(14b) きの私は仕事がたくさんあって (たくさんあったので) 眠れなかった。

msəlməɲ	kɲom	mèəɲ	kækkaa	craən	pèek
昨日	私	ある	仕事	たくさん	すぎる
muun	baan	deek	tèe		
(否定)	得る	寝る	(文末)		

/deek/<横になる>という自己の意思でコントロールできる動作を否定することもでき、その場合には、「横になる意思をもたなかった」という意味になる。例(14b)のように、/baan/<得る>を前置させ否定させると、「横になる意思はあったが、その機会を得られなかった」ことを表す。

(15) 私は頭が痛い。

kɲom	churuu	kbaal
私	痛い	頭

(16) あの女性は髪が長い。

srəj	nuh	sək	vèeɲ
女	それ	髪	長い

下の例のように、「あの女性は長い髪持ちだ」のような表現も可能である。

srəj	nuh	mèəɲ	sək	vèeɲ
女	それ	ある	髪	長い

(17a) 彼は (別の) 彼の肩を叩いた。

kɔət	tèəh	smaa	kèe
彼	叩く	肩	彼

(17b) 彼は (別の) 彼の手をつかんだ。

kɔət	cap	daj	kèe
彼	つかむ	手	彼

(18a) 私は彼がやって来るのを見た。

kɲom	khəəɲ	kɔət	mòək
私	見える	彼	来る

(18b) 私は彼が今日来ることを知っている。

kɲom	dəŋ	thaa	kɔət	mòək	tɲaj	nih
私	知る	と	彼	来る	日	これ

(19) 彼は自分（のほう）が勝つと思った。

kɔət	kut	thaa	kluon	cnèəh
彼	考える	と	自分	勝つ

(20a) 私は（コップの）水（の一部）を飲んだ。

kɲom	phək	tuuk	kaev
私	飲む	水	コップ

(20b) 私は（コップの）水を全部飲んだ。

kɲom	phək	tuuk	kaev	ʔəh
私	飲む	水	コップ	尽きる

(21) あの人は肉を食べない。

mnèək	nuh	muun	ɲam	sac	tèe
一人	それ	(否定)	食べる	肉	(文末)

治療のため、もしくは誓いを立てて食べない場合、/tɔɔm/<断つ>も用いられる。

mnèək	nuh	tɔɔm	sac
一人	それ	断つ	肉

(22a) 今日は寒い。

tɲaj	nih	ròŋgəə
日	これ	寒い

(22b) 私は（何だか）寒い（私には寒く感じる）。

kɲom	ròŋgəə
私	寒い

(23) 私は人がとても多いのに驚いた。

kɲom	ɲnèək	daoj	mèən	mòɔnuh	craən	nah
私	驚く	で	ある	人間	たくさん	とても

(24) 雨が降ってきた。

pliəŋ	mòk
雨	来る

(25) その本は良く売れる。

siəvphəv	nuh	lòk	dac
本	それ	売る	切れる

このナイフは良く切れる

kambət	nih	mòt	lʔəə
ナイフ	これ	鋭利な	良い